

委員会行政視察（広島市）
質問・答弁及び所感

米沢 知達 議員

視察事項 みなとオアシス広島

問 物産店撤退理由は

答 民間企業であり運営が困難となった。

問

答

問

答

所感 平成24年、「みなとオアシス広島」の登録を受け、宇品周辺の4地区を対象に県と協力（市民等との連携による港の賑わいづくり）に取り組まれている。港のハード部分は主に県が、市は賑わいづくりのソフト部分を担っている。住民参加型事業とはいえ、計画段階から行政主導で進められており、インフラ整備後も運営は行政主導となっている。賑わいも、土、日、夜日のイベントに頼るところが多く、初期の目的である地域の魅力を生かした「みなとまちづくり」にはなっていない。広島港振興協会等の助成金で、初動支援としてイベントの補助をしているが、原資も枯渇してきている。

施設は素晴らしいものであるが、コストパフォーマンスが目に見えないとは残念である。地域住民のコミュニティの醸成、関係団体と連携強化をはかり、運営も行政主導ではなく、民間活力導入の促進をはかるべきと考える。

委員会行政視察（倉敷市）
質問・答弁及び所感

米沢 痴達 議員

視察事項 水島コンビナートにおける防災対策、地域活性化総合特別区域の概要

問 瀬戸内地区広域共同防災組織においては大容量泡放射設備は、香川県坂出市に備え付けとなっているが、設備箇所を増を国へ要望すべきではないか。

答 設置の必要性は認めるが、消防庁管轄の所管事項である。

〈所感〉水島コンビナートにおける防災は、県と市及び各企業が一体となって防災体制が確立されている。

災害防止対策においては、市は主要企業27社と31事業所の防災責任を基調として「災害防止協定」を締結し、協定事項実施の為の「災害防止計画書」を作成している。又 災害防止計画書は行政と企業が協議の上毎年回見直しをし、必要に応じて改定しているとは特筆すべきことである。

市民への広報活動マニュアルは、周南市消防のマニュアルを参考にしたことであった。

災害は、いつも想定外であり、本市においても行政と企業の一層の防災対策が求められる。

地域活性化（水島コンビナート）総合特区は（1）バーチャルワンカンパニーの実現、（2）グリーンイノベーションコンビナート戦略、（3）水島港ハイパーロジスティクス港湾戦略の3つの戦略を国と地域の協働プロジェクトで推進し、地域の活力を生み出すとするものである。

特区区域内においては、様々な規制を緩和し、国際競争力をつけ、又、ものづくり産業の再編を図り、水島コンビナートの持続的発展により、雇用を守り、更なる企業誘致により新たな雇用を生むことをめざしている。

視察時間が限られ、説明を聞くだけにとどまったことは残念である。

委員会行政視察〈 尼崎市 〉
質問・答弁及び所感

米沢 康 議員

視察事項 ポートレース尼崎の経営と施設概要

問 石ミラー向けイベントの開催により、イベント参加者が舟券購入につながっているか。

答 そこまで分析していない。

所感 毎年一般会計へ約3億円繰り入れ、公共施設整備基金に充当されている。しかしながら、総売り上げは回復しつつあるものの過去の様な右肩上りのトレンドは期待できず、様々な経営改善にとめられている。

売上向上策として、広域発売の拡大、SQ競争・プレミアムGI競争の誘致、新規ファン獲得と定着等に取り組まれている。

売上は特に電話投票の占める割合が高く、関西地区以外のスポーツ紙に対して出走表の掲載、ピットレポートのネット配信、携帯用競艇サイトでの予想コンテンツの提供など行なわれている。

今後、顧客情報を分析し、アプリ等でより細かな情報を提示し、売上向上対策を打つことである。

尼崎競艇場は、阪神電車が横付する交通の利便性がよく、本場に併設されている外向発売所「セントピア」の周知を高めることにより、更なる収益向上が見込めるのではなかろうか。

徳山競艇においても、様々な売上向上に取り組まれているが、今後早朝レース開催場が増えるという情報もあり、更なるファン獲得への努力が望まれる。

委員会行政視察〈 広島市 〉
質問・答弁及び所感

坂本心次 議員

視察事項 みなとオアシス広島

問

答

問

答

問

答

所感 「みなとオアシス」とは、古くから地域の拠点として栄えてきた「みなと」を現代の地域の魅力づくりに活かすことを目的に国土交通省が平成15年に創設した制度。

平成26年度のみなとオアシス広島運営協議会の会員は、総勢45団体。イベント開催回数も今年度は108回を予定とし、昨年度の71回から大幅に増え、13万人もの方々が足を運んでくださったと聞く。

この事業によりたくさんの人の輪も広がりみなとに賑わいが定着しつつあると感じた。

本市においても素晴らしい港を所有しているのを、県との連携のもと輪を広げ賑わいづくりを一層進めるべきである。

委員会行政視察（倉敷市）
質問・答弁及び所感

坂本心次 議員

視察事項 水島コンビナートにおける防災対策、地域活性化総合特別区域の概要

問

答

問

答

問

答

所感 水島地区の防災は、各行政機関及び企業が一体となり、
防災体制の確立等強化が図られ整備や強化されている。

防災組織には、岡山県石油コンビナート等防災本部、倉敷市石油コンビ
ナート等災害対策本部、倉敷市コンビナート防災審議会、水島地区排出
油防除協議会、水島コンビナート地区保安防災審議会、水島港湾災
害対策協議会がある。災害防止対策の計画をしっかり定め、関係
機関・組織との連携強化を図る事が、大変重要だと感じた。

水島コンビナート総合特区の目指すもの

バーチャル・ワン・カンパニーの実現、グリーンイノベーション戦略
水島港ハイパーロジスティクス港湾戦略の3つの戦略を国と地
域の協働プロジェクトとして推進し、構想を実現すると聞いた。

委員会行政視察〈 尼崎市 〉
質問・答弁及び所感

坂本心次 議員

視察事項 ポートレース尼崎の経営と施設概要

問

答

問

答

問

答

所感 尼崎競艇場は兵庫県尼崎市にある競艇場である。

通称は、BOAT RACE 尼崎。駅直結でアクセスは至便。平成26年度ポートレース場別売上金額も全場平均売上金額を越えて8番目である。近年の傾向としては、市街地にあるのに、本場への客は減少している一方、電話投票で売上げをカバーしている。

受託売上げは、H27は32億、H28は30億、売上げ向上に向けて電投の登録会員にキャッシュバックキャンペーンに取り組む。ファミリーのイベントや無料券配布、又、スマホアプリも掲載を定期的にやりファンを広げる。本市においても近年順調に売上げをのぼしているところであり、四半一般会計のくり入れを望む。

視察報告

新国会 田村勇一

【みなとオアシス広島】広島市
(賛同事項)

1. みなとオアシス導入の経緯について
2. 制度活用の特長について
3. にぎわいの創出の実績について
4. 地域住民との連携の在り方について
5. 今後の展望について

【所感】

現在の地域づくりは、若くはこれを目的に、国交省が平成15年に創設した制度は、旅客ターミナルや緑地等の港湾施設も、市民等が地域交流の拠点として、活用しやすく、住民参加型のまちづくりを進めることにより、港に「にぎわい」を創出しようとする取り組みである。

市町村または、市民団体等が、目的に該当する活動を行うために、一定の区域と、この活動内容を定める計画を策定し、港湾管理者と協議の上、国交省に登録申請に認められると、国や港湾管理者によって情報発信されたり、港湾施設の使用料が免除されるなどの支援を受ける事ができる。

平成28年9月現在、全国で27港が登録されており、県内では2港が登録されている。

広大な土地空間の資源を活用した施設である。特に現代の顧客ニーズを捉えたイベントが出来、にぎわいの創出に大きく寄与している。

事務局は市の施行部が行っているが、あくまでも市民主体というところに魅力がある。

みずほオアシス広島運営協議会会員が38団体あり、それぞれが思考を凝らす特色を生かしたイベントが開催されているところに魅力がある。

概ね、高速道路やJR駅等アクセス面でも高いであり、マンション等で人口増にもつながっている。

○ 概ね、イベントのマンネリ化や、広大な土地、施設等で維持管理が大変で今後の課題である。

概ね、経済効果もあげられぬゆえ、地域との連携も必要であり、積極的なヒーリングも必要である。

[水島コンビナートにおける防災対策] 倉敷市 (質問事項)

○ 1. 国・県・石油コンビナート等の防災計画、水島関係機関の事務及び業務の細目にある倉敷市の取組み詳細

2. 学校や地域等における防災教育(例えば防災キャンプ実施事業や防災講演会の概要や実績、広報周知の仕方等)

[所感]

全国でも有数の石油コンビナート地域であり、防災に対するものは他に類を見ない取組みである。

過去の水島コンビナート大事故も教訓に国・県との規制も厳しく、防災に対する認識は格段なものがある。

概ね、地域住民に対する配慮も尽くされており、防災意識の

高さが伺えぬ。

〔地域活性化総合特別区域の概要〕倉敷市

1. トータル・ワンカンパニーの実現

コンビナート全体を一つの企業とみなし、規制緩和と財政支援で企業間連携を実現し、高効率・省資源型コンビナートを構築する。

2. 水島港のハイパーシステム港湾戦略

インフラ整備と規制緩和により、国際バルク戦略港湾に選定された水島港を利用する多くの船舶の輸送効率を改善する。

3. グリーンイノベーションコンビナート戦略

規制緩和と投資促進策により、多ムリーな事業展開を支援し、西日本一の素材供給基地として環境、エネルギー分野のメガ工場化等産業集積を図る。

※説明を受ける(貸向なし)

〔ボートレス尾崎の経営と施設概要〕尾崎市

経営内容は大きく変動もなく顕著な推移にあり、年間約2億円の一般会計に繰入れられている。

今後、観客を増やすための努力もしている。電話投要件入れの施設見学。